

第六号の二書式（第二十条の三関係）

建築士法第23条の6の規定による
設計等の業務に関する報告書

（第一面）

建築士法第23条の6の規定により、設計等の業務に関する報告書を提出します。この報告書の記載事項は事実に相違ありません。

長野県知事 殿

令和 年 月 日

一級

二級 建築士事務所 長野県知事登録() 第 号
木造

事務所名称 _____

所在地 _____

電話 _____

建築士事務所の開設者の氏名又は名称

《法人開設》

法人名 _____

代表者氏名 _____

《個人開設》

開設者名 _____

報告事業年度 令和 年度分

始期～終期 令和 年 月 日～令和 年 月 日

[記入注意] 建築士事務所の開設者が法人である場合には、法人の代表者の氏名も併せて記載すること。

[提出先] (一社)長野県建築士事務所協会

(第二面)

建築士事務所の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。
2 〔例〕

長野県 共同住宅 鉄筋コンクリート造 設計及び 19. 2. 1
五階建延 700 m² 工事監理 19. 10. 3

※建築士の独占業務である設計・工事監理及びその補助業務について、事業年度内に行ったものを全て記載してください。（但し、継続中のものは、期間欄に『H20.10.1～継続中』のように記載してください。）

(第三面)

所属建築士名簿

(第四面)

所属建築士の業務の実績

〔記入注意〕

- 1 所属建築士の当該事業年度における業務の実績を、当該建築士事務所におけるものに限って、直近のものから順次記入して下さい。

2 [例]

長野 太郎 長野県 共同住宅 鉄筋コンクリート造 設計及び 19. 2. 1
五階建延 700 m² 工事監理 19. 10. 3

※建築士の独占業務である設計・工事監理及びその補助業務について、事業年度内に行ったものを全て記載してください。（但し、継続中のものは、期間欄に『H20.10.1～継続中』のように記載してください。）

(第五面)

管理建築士による意見の概要

〔記入注意〕

当該事業年度における直近のものから順次記入して下さい。